

行仙宿、連休前の準備作業

◇実施日 4月30日(土)

晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、濱野兼吉、生熊敏男・千満子、畑

林秀味・清子、大江加予子、橋本梓、西克、梶野照雄、

志岐敬、高橋桂太、今中三恵子 14名

例年春に南奥駈道全コースの巡視を行い、大型連休前には各小屋の整備に向いているが、今年は週末に雨が多く日本山岳会のサポートもあつて、連休2日目となる30日にやっと行仙宿に向かうことになった。



「杭まる」を運ぶ

ブローアード掃除

水汲み

当日朝8時半、補給路登山口に全員が集まる。登山口には電源開発

から寄贈された「杭まる」60本がデポされている。本日の荷揚げの主なもの、この杭60本と缶ビール2ケース、コーラ1ケースである。モノレール終点から分担して運び上げる。高橋君がビール2ケースを担いでくれたおかげで2往復せずに、一度の荷揚げで行仙宿に着くことが出来た。

到着後は水場整備と水汲み、小屋、お堂、トイレの清掃、以前運んだ雑木をマキに加工などに分かれて作業し、午前11時半頃から昼食とする。児嶋さんは青木君寄贈のブローアードで小屋周辺の落ち葉をきれいに掃除してくれた。水場は昨日の雨で滝になって流れており、約50リッターを小屋に運びあげた。



本日の参加者

間伐材を運ぶ

午後の作業は送電線下の補給路を補強する作業だ。送電線工事のため線下の樹木を伐採したため、補給路の谷側が崩れ始めたので、昨年から少しずつ資材を運んで準備していた。

今日荷揚げした「杭まる」で十分な資材が揃い、好天で参加者も多

数だったので作業を決めた。

ハンマーやジョレンなどを倉庫から出し、午後1時頃に現場到着、工事に着手した。

梶野、志岐、高橋、西の4名は、梶野君がモノレール傍に集めた間伐材（直径7〜8cm長さ180cm位、約30本）をモノレール終点に集める、と降りて行った。

残りの10名で作業開始、杭、栈木、道具類はすぐ横にある。工事に必要なものは運びこんでいたので、進行は早い。杭を打つ者、栈木を運ぶ者、土を削って道を平らにする者と、皆さん自分の役割を心得ているので、特段の指示は必要なかった。



補給路の補修箇所

下山

一時間ほどで崩れの大きい直線部分の補修は完了。

30m位の長さがあるので、上下2段の土留を設置するのに3回位は出向く必要があると考えていたが、一回、一時間半で大部分が完成した。間伐材を集めに降りた4人も丸太を担いで戻ってきた。工

事の進捗具合に驚いたことだろう。

道を平らにするため土を削ったので、路面が柔らかい土になっている。路面に小石を敷き詰めて、土が流れ出すのを防ぐ必要があるため周辺のガレ場から小石を集めて現場に敷く作業が残っている。行仙宿訪問の都度、作業して完成を目指したい。

作業を終えて道具類を一ヶ所に集める。道具類にシートを被せながら登山道に目をやると、路肩には栈木が入り、路面も平らで広くなつて、その完成度に満足する一日だった。

遠路参加して下さった高橋君、今中さん。そしてレギュラーの皆さん、ありがとうございます！
(記：沖崎)

行動タイム

08：30 補給路登山口→09：50 行仙宿 12：43→13：00 補給路補修箇所
14：05→14：38 補給路登山口